

## 環境浄化を兼ねたアワビ・海藻複合養殖

今般、ジファスが真鶴アワビ・海藻複合実証プラントで採用した本方法では海藻(例 アオノリ、アマノリ)の日間生長速度は、母藻重量の28%/日、即ち 15日間で40倍に生長することが実証され、その商業プラントへのエンジニアリング作業に、目下精力的に取り組んでいるところである。

海藻養殖水槽に母藻100gを投入後、半月の間に4kgの収穫量に成長する、即ち収容密度は0.4%(重量比)。

海藻は光合成により溶存炭酸ガスを吸収し、酸素を排出、循環水系の溶存酸素の増加に貢献し、アワビがその残餌と排泄物により排出するリン酸塩、アンモニア態・亜硝酸態・硝酸態の窒素(環境汚染物質・富栄養化)を、その栄養源として吸収すると同時に循環水の水質浄化に寄与する。

環境浄化を達成する為の養殖水槽規模は アワビ養殖水槽約18m<sup>3</sup>に対して、排出される窒素量を100%吸収バランスさせる為には130m<sup>3</sup>が必要となる。

即ち、海藻水槽vs.アワビ水槽の容積比は7.2である。

但し、流動床式硝化槽に硝化菌を付着させた担体を投入し、海藻が吸収しきれない窒素を、固定化し、循環水処理を完成させる事で、容積比を如何様にでも調節する事が可能である。

## 新入会員の紹介

会社名	株式会社 藪下機械店
本社	函館市豊川町20-5 TEL:0138-26-3851 FAX:0138-22-1629
支店	札幌市白石区菊水1上町3-3-52-217 TEL:011-820-5051 FAX:011-820-5052
設立	昭和38年12月5日
資本金	1,500万円(授權資本 30,000株)
役員	代表取締役 藪下宏一 専務取締役札幌支店長 石川健一
関連会社	有限会社 シーランドエンジニアリング
経歴	藪下市松が函館製網船具株式会社の機械部長として永年勤務。その経験を基に昭和38年同社を退職後、同年12月5日株式会社藪下機械店を設立。 平成8年藪下宏一が代表取締役社長に就任し現在に至る。
業務内容	管一機械器具設置工事業【北海道知事許可(般一16)渡第03820号】 建設機械・冷暖房空調設備機器・給排水機器、水処理関連機器・工作機械工具 試験計測用具・荷役運搬機械・船舶設備機械・林業機械・工業薬品・機械器具 設置工事業・産業廃棄物処理機械プラント施工・環境関連製品・灯油エアコン (KHP)設計、施工、保守管理・医療用機器類及び医療用品・機械器具のリース その他前各号に付帯する一切の事業

## マダコ養殖成果が日本水産学会で発表

去る2007年9月26日北海道大学水産学部 函館キャンパスにおいて、全国から参集した水産学全般に亘る研究発表会が、【平成19年度日本水産学会秋季大会】として、盛会裏に開催され、ジファスのコンサルの下、株式会社ホットランドの要請に基づいて、鹿児島大学東町ステーションにて実施された【マダコ養殖】の第2次実験結果が、同大学門脇教授とその指導研究員、藤原院生により、実験結果が、研究発表された。

実験結果の要約としては、園芸ポットを用いた技法が、マダコの養殖に一定の成果として認識された事、又、アオサとの複合が成長促進に寄与した事、一方で、海水温度・塩分濃度・酸素量・透明度などが、養殖過程での斃死率に影響を与えることが、確認された、としている。

引き続き、第3次実験において、ヤンマー船用システム(株)開発の多段方式システム等の実験への取り組みが、今後の本プロジェクトの成否を左右する事になると考えられる。

本事業は、孵化技術の開発と共に進めていく予定です。



▲ 鹿児島大門脇教授を中心に、藤原院生、ジファス谷口理事・藤野理事及び北海道在住のジファスメンバー諸氏